



【TICAD7に向けた交流イベント・親善サッカー試合の様子】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 30 年 5 月 31 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp

第7回アフリカ開発会議横浜開催・親善交流イベントを開催しました

2019年に、横浜で開催される第7回アフリカ開発会議（TICAD7）に向けて、5月13日に、在京アフリカ外交団（※）と国会・市会議員チームによる親善サッカー試合及び意見交換会を日産スタジアムで開催しました。



あいにくの雨模様でしたが、約80人の選手が交代で参加する試合に、200名以上の観客が駆け付け、それぞれのチームを応援しました。試合は前半2-0、後半は1-0で、結果的に3-0でアフリカチームが勝利しましたが、白熱した試合が繰り返されました。両者は試合を通じて、友好関係を更に深めることができました。



試合後の意見交換会には、アフリカビジネスの展開や拡大に向けた機会とするために市内企業等も

加し、アフリカ各国大使や関係者とのビジネス交流が活発に行われました。

※在京アフリカ各国大使館38か国で構成される外交団。



韓国・仁川広域市の職員の皆様が交通局を視察されました

5月15日に本市のパートナー都市である仁川広域市の国際、水道、交通等の職員一行が本市交通局を訪問しました。



交通局の職員が韓国語で講義を行い、本市の交通施策の歴史、交通局広報誌「ぐるっと」の発行背景、広報効果等を説明しました。また、観光路線（ぶらり観光SAN路線）の利用者数、ルート設定基準、人気路線等についても講義しました。

企業局の視察ということもあり、質疑応答では、予算や、黒字と赤字の状況、高齢者・障害者等への優遇パスの状況等、金額に関する内容が中心となりました。

仁川市職員の方々は、帰路は、説明があったばかりの「みなとぶらりチケット（一日乗車券）」で、地下鉄ブルーラインに感慨深く乗り、市営バスの乗車でもチケットを楽しそうに本市運転手に見せ、講義と実用を兼ねた視察をされました。



ブルガリアから「バラの女王」が横浜を訪問しました

5月23日に、ブルガリア「バラの女王」ツヴェテリナ・イリエヴァさんが、小林副市長と面会されました。イリエヴァさんは、ブルガリアンローズ文化協会の招きにより来浜し、横浜で現在開催中の「ガーデンネックレス横浜」のバラのスポットめぐりや、小学校の子ども達との交流も行いました。



イリエヴァさんはブルガリアでデザインを専攻され、絵を描くのが得意とのこと。花々の咲く美しい風景に触れ、「横浜の風景はとてもきれいな」と感激されていました。